

市内で行われた活動やイベント
を紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

千賀ノ浦部屋七尾合宿

8月2日から11日までの10日間にわたり、大相撲の千賀ノ浦部屋が愛宕山相撲場を中心に合宿を行いました。千賀ノ浦親方(元関脇舩田山)は、七尾出身ということもあり、地元の人たちとの交流を心から喜んでいました。また、地元出身力士の能登ノ波も地元での合宿開催ということで気合いが入っていた様子でした。「来年以降も、合宿を続けていきたい」との親方の報告に、市民の方々の楽しみがまた一つ増えることで七尾が活気づくと思います。



上下：市内の少年力士とぶつかりげこ



左右：市民との交流

祭りの國・七尾

夏といえば祭り、祭りといえば七尾といわれるほど、七尾には数多くのお祭りがあり、特に夏場に多く行われます。「能登島向田の火祭」「石崎奉燈祭」は毎年数多くの見物客が訪れ、そのほかにも「なごしの祭り」や「塩津かがり恋まつり」、「新宮納涼祭」など市内の至るところでキリコ(奉燈)祭りが行われています。

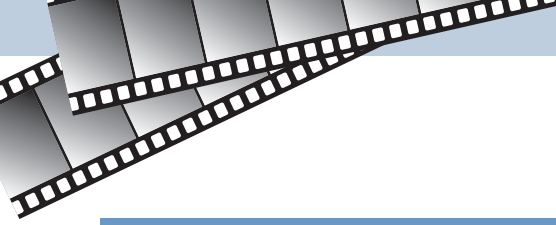
夏の七尾は、祭りムード一色「祭りの國・七尾」です。9月には国指定重要無形民俗文化財「お熊甲祭」も行われます。



上 7月26日：能登島向田の火祭、下 8月2日：石崎奉燈祭



8月14日：新宮納涼祭



7月27日:御祓川河畔

川への祈り
御祓川沿いに2000本のろうそくが灯され、燈籠がゆっくりと御祓川を流れ、とても静かで幻想的な空間でした。ゴスペルの生歌、管弦楽の生演奏もあり、身も心も癒されたひとときでした♪



7月31日:和倉温泉駅

街のあちこちで「あさがお」を
七尾青年会議所主催で「花いっぱいマイステーション」と題して、園児や高校生、地元企業の協力により、和倉温泉駅の構内にアサガオ300株を飾り付けました。キレイに咲きますように！



7月31日:佐野町地内

能登野菜の一つ「金糸瓜」の収穫を七尾あいじ保育園年長児30名が体験しました。大きく育った「金糸瓜」を園児たちは落とさないように両手で抱えてヨイショ、ヨイショ。みんな、早く食べたそうな顔になってたよ！

重いから落とさないように！
能登野菜「金糸瓜」収穫体験



8月9日:中能登町 梅の里公園

能登ふるさと博協賛行事として、中能登町祭「織姫夏ものがたり」に「お熊甲祭」がお目見え。3基の杵旗がイベント会場を縦横無尽に練り回り、妙技「島田崩し」も来場者を魅了していました。9月20日も楽しみ！

「杵旗祭」中能登町に初お目見え！
「織姫夏ものがたり」



8月7日:出発式(能登食祭市場)

(社)七尾青年会議所のホームステイ事業「ジュニア・ウイングス」の一行(市内の中学生10名、引率4名)が8月7日に七尾を出発し、19日に無事13日間の日程を終え帰国しました。英語はうまく話せたかな？

姉妹都市・米国モントレイ市へ出発！



8月19日:和倉公民館

和倉地区の24名の子どもたちが灯籠づくりに夢中になっていました。木枠を組み立てたあと、障子に自作の俳句や絵を描き、木枠に貼り付けて完成！釘を打ちつける様は真剣そのもの。ちゃんと灯籠は流れたかな…!?

世界に「つだけの」マイ灯籠
「和倉温泉こども灯籠流し」